



### 豊小クリーン作戦



5月20日、豊頃小学校（中村真也校長）の全校児童が学校の敷地とその周辺のクリーン作戦を行いました。

ごみ拾いをする班と石拾いをする班で全部で8つの班に分かれ、下級生は上級生の指示に従いながら語らいの広場、豊小の森、グラウンド、多目的広場横の用水路のごみや石などを拾っていました。

クリーン作戦を終え、各班の代表者が感想発表を行い「運動会前にグラウンドの石が沢山拾えてよかった」「用水路にダンボールが落ちていたけど、みんなと協力して拾い上げた」といった感想が聞かれました。

### 大津地区津波避難訓練



十勝沖を震源とするマグニチュード8以上（震度6強クラス）の地震発生に伴い大津波が発生したという想定のもと、大津地区住民を対象とした津波避難訓練が5月17日に行われました。関係機関を含めた参加者約150名は、防災無線放送、サイレン吹鳴と同時に訓練を開始し、大津市街地から長節の国道336号線沿いにある津波緊急避難場所まで車で移動し、避難ルートと時間を確認しました。

また、大津地区では大津漁港において漁船沖出し訓練、大津コミセンでの大津地域づくり協議会（前川剛司会長）による炊き出し訓練がそれぞれ津波避難訓練と並行して実施されました。訓練終了後には炊き出し訓練で作られたカレーが訓練参加者に振る舞われました。

### 公共牧場永年勤続表彰



4月12日、札幌市で北海道公共牧場会主催の北海道公共牧場永年勤続職員の表彰式が行われ、本町から鈴木隆寛さんが表彰され、5月2日に役場応接室にて受賞報告を行いました。

受賞の理由として、鈴木さんは勤続年数15年のベテランで、飼養管理の面での確かな発情発見と患畜牛（病気になった牛）の早期発見により預託牛の適切な管理を実践し、草地管理の面では植生及び生育状態の的確な判断により効率的な肥料散布を実施するなどの高い管理技術が、常に他の職員の模範となっており、本町公共牧場の運営に寄与された功績が認められました。

### 豊頃ランバース道東大会出場



5月12日、バレーボール少年団の豊頃ランバース（川上浩樹監督）の選手たちが町教育委員会を訪れ、5月14日に白糠町で開催される第37回道東小学バレーボール大会出場報告を行いました。

管外大会への出場は十数年ぶりのことで、キャプテンの末永さんは「白糠大会では自分たちの力を全て出し切って優勝を目指したい」とあいさつすると、富田教育課長は「今までの練習の成果を出し切れるよう頑張ってきてほしい」とエールを送りました。

なお、試合結果は次のとおりでした。  
1回戦 対 端野バレーボール少年団 2対0で勝利  
2回戦 対 標津レグルス 0対2で敗退

### 町建設業協会 50周年事業で寄附



豊頃町建設業協会（中島光男会長、会員13社）が協会設立50周年の記念事業として町に50万円を寄附しました。

同協会は昭和41年（1966年）に設立され、一時期20社ほどあった会員は現在13社となっています。

5月23日、中島会長は役場を訪れ「先輩から受け継いだ地域貢献の姿勢をこれからも続けたい。町づくりに役立ててほしい」と寄付金を宮口町長に渡すと、宮口町長は「設立から50年、これまで町づくりに様々な協力をいただきとても感謝しています。大事に使わせていただきます」とお礼を述べられました。

### プラカード寄贈



5月21日、(有)大進建設（松原敏行社長）が社会貢献事業として、野球少年団の豊頃ドリームズにプラカードを寄贈しました。

以前使用していたプラカードが古くなっていて、新しいものにしてもらえないかという打診が松原社長のもとにあり、同社で製作し寄贈することになったそうです。豊頃ドリームズ主将の武隈颯世さんは「新しくしてもらったからには、次の大会は優勝目指して頑張りたい」と意気込んでいました。

以前使用していたプラカード⇒



### 大津クリーン作戦



5月9日、大津小学校（合掌浩孝校長）の児童と教職員・PTA・大津地域づくり協議会（前川剛司会長）・大津生涯教室『日の出会』（山田久利会長）など30名が参加し『クリーン作戦』が行われました。

道道大津旅来線沿いの片道5キロほどの区間で4か所に別れ、道路脇や駐車場などのごみを火ばさみを使って拾い集めました。

ごみ拾い終了後、児童を代表して佐々木蓮さんが「ごみが沢山あることはいいことではないので、皆さんもごみを捨てないようにしましょう」とあいさつをしました。集められたごみの量は、軽トラック1台分と、2トントラック1台分とどちらも荷台から溢れ出るほどの量の多さでした。

### 魚つきの森で植樹



5月21日、安骨の町有林で、十勝川魚つきの森推進協議会（茅野優会長）による『十勝川魚つきの森植樹祭』が行われました。

この植樹祭は今年で11年目を迎え、昨年までに植えられた木の本数は、カラマツやエゾアカマツなど1万3,460本に上り、参加者も延べ1,000人以上となっています。

今年は、豊頃町内の各小学校、大津漁協、豊頃町農協、豊頃町商工会、豊頃町建設業協会、帯広建設管理部や十勝総合振興局など15団体、約120人が参加し、1000本のカラマツの苗木を0.5ヘクタールの敷地にスコップやくわなどを使って1本1本丁寧に植えました。

▽はるにれは見ていた  
広報とよころ

▽はるにれは見ていた  
広報とよころ

社協だより

社協だより

役場だより

役場だより

